



2022年7月29日

各 位

上場会社名 三菱化工機株式会社
代表者 取締役社長 田中 利一
(コード番号 6331 東証プライム)
問合せ先責任者 経理部長 根木 貴晴
(TEL 044-333-5354)

2023年3月期第2四半期及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表した2023年3月期の第2四半期及び通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期連結業績予想数値の修正

(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,000	1,000	1,050	700	92.01
今回修正予想 (B)	24,000	1,400	1,650	1,250	164.30
増減額 (B - A)	1,000	400	600	550	
増減率 (%)	4.3	40.0	57.1	78.6	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期第2四半期)	21,399	1,367	1,507	1,173	154.43

2. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	47,500	2,500	2,600	1,700	223.61
今回修正予想 (B)	47,500	2,500	2,750	1,800	236.60
増減額 (B - A)	-	-	150	100	
増減率 (%)	-	-	5.8	5.9	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	45,438	2,770	3,230	2,547	335.07

3. 業績修正の理由

上期の売上高につきましては、当社の主力製品であります油清浄機及び同アフターサービス部品並びに船舶環境規制対応機器の販売が前期に引き続き好調だったこともあり、当初予想を上回る見込みであります。営業利益につきましては、売上高の増加による売上総利益の増加、外貨建ての売上に係る為替差益の影響、当初計画では下期に見込んでおりましたエンジニアリング事業における工事採算の改善が進んだこと等により計画を大きく上回る見込みであります。また、営業外収益で為替差益が発生する見込みであり、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても上方修正いたします。

通期の売上高、営業利益につきましては、ウクライナ情勢の長期化懸念、急激な円安の進行による資源・原材料価格の上昇や供給面での制約とこれに伴う物価上昇等、景気の先行きが不透明な状況であることを踏まえ、当初計画を据え置きます。経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については為替差益の発生を見込み上方修正いたします。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上